



部活動について ④



第46、47号と、スポーツ庁の文章が続きました。
今日からは、私の思いを書くことにします。徹底的に。
31年前の卒業アルバムにあった写真を紹介しました。
金沢市立西南部中学校の女子ソフトボール部監督として、初めて優勝旗を手にした時のものです。

現在は、加賀地区・能登地区大会を通過した学校が、県大会に出場するシステムになっていますが、当時は各郡市で予選を実施して県大会の出場権を得る形式でしたので、『**県体予選**』という呼び名でした。写真の優勝旗は、金沢市予選のものです。

その優勝を機に作って頂いた部旗は、もう写真のものとは別物のように色あせていますが、今も、西南部中女子ソフトボール部で活躍してくれています。

31年前の私は、部活動を通して、いろんな体験をさせてもらいました。喜びよりも、苦しさや悲しさの方が圧倒的に多い毎日でしたが、部活動からでしか得られないものを、いただきました。

それは『**成長**』です。
生徒と先生が、一緒に成長する。
それが部活動なんです。

しかし、残念ながら、中学校から「部活動」をなくそうという動きがあること、それを伝えたくて、第46、47号にわたってスポーツ庁の提言を紹介しました。いろいろな人たちが、いろいろなところで、そんな動きを進めています。その動きは急激に、活発になっています。そしてさらに残念ながら、その動きは、もう止めることはできないようです。

1999年からずっと、私の部活動を支えてきてくれた曲を紹介しました。明日に、続きます。

遠い空で きっと

大黒摩季

いつまでも どんな日も
君のことを忘れはしないよ
いつか夢が叶うように
遠い空で きっと 応援してるよ

懐かしいグラウンドには
いろんな未来が汗を流してる
あの頃の私に似た
少し不器用な君の背中 見つめてた

限界なんて 本当はないはずだよ
疲れると見える曇気楼
今ある壁の
向こう側の世界を見てみたいよね

泣けばいい 逃げてもいい
立ち上がれないほど辛いことなら
いつの日も抱き締めた
心の光り もう 自分で消さないで

よれよれの君のユニフォーム
しばらく見なくて心配したら
制服のまましゃがんで
揺れるオレンジの河に
溜め息投げ込んで

迷ううちにタイムリミットに押され
とりあえず決めてしまうよね
自分らしさということを
信じて生きたいよね

もう一度 やってみよう
君のようにまっすぐ走ってみよう
輝いてた思い出を大事にしてね
君が君でいるために

いつまでも
君のことを忘れはしないよ
いつか夢が叶うように
遠い空で きっと 応援してるよ